



手遊び歌とクロッキーで交流をしました!(ふれあい参観日)



5月25日(土)は、大用地域の方々と交流する「ふれあい参観日」でした。昨年度よりも多くの方々にご参加いただき、茶摘みの手遊び歌やクロッキーを描きながらの会話など、楽しい交流となりました。子どもたちからクロッキーを手渡された地域の方は、「なかなか似ちゅうね」「上手に描けるね」など、笑顔で話をされていました。

6月13日(木)には、旧常六小学校と旧片魚小学校の校区のみなさんと、同じプログラムで交流させていただく予定です。

救急法講習会をしました!

大阪からの修学旅行生との交流!



5月25日(土)のふれあい参観日の後、5・6年生、保護者、教職員が参加し、心肺蘇生法・AEDの使い方を学ぶ講習会をしました。中村消防署の隊員さんに教えていただきながら、全員が胸骨圧迫などをしました。わずか30回の胸骨圧迫でも結構疲れます。大用地区には、救急車が到着するまで15分程度かかるということです。一人では精度が落ちてくるので、疲れる前に別の人と交代しながら胸骨圧迫を続けることが大切だと学びました。



5月30日(木)、思いがけないお客さんが訪問してくれました。四万十市と大阪府枚方市は、友好都市提携をしており、枚方市にある常翔啓光学園中学校3年生3名が大用小学校に来てくれました。近くの山崎さん宅が民泊を受け入れており、農業体験などを行っているとのこと。この日は川遊びを予定していましたが、2日前の大雨の影響で川が増水しており、急遽、別メニューになりました。複式の授業参観やプールのごみ取り、大谷翔平選手のグローブを使っての野球交流などを行いました。水泳の近畿大会に出場するという生徒さんには、素晴らしい泳ぎを見せていただきました。

わずか2時間くらいの交流でしたが、大用小の子どもたちも生徒さんも大喜びで、楽しい時間を過ごすことができました。